

知立駅周辺地区エリアプラットフォーム

商業戦略部会 # 2 議事概要

日時：2026 年 8 月 28 日(金)10:00 から

場所：知立市役所 4 階 403 会議室

参加者名簿（順不同、敬称略）

会員	団体名/法人名	出欠席
1	知立まちづくり株式会社	出席
2	知立市商工会	出席
3	知立市商工会青年部	欠席
4	株式会社藤田屋	出席
5	株式会社 FUJI	欠席
6	名古屋鉄道株式会社	出席
7	知立銀座商店街協同組合	欠席
他会員	本町区長	出席
オブザーバー	中部電力株式会社	出席
事務局	知立市 まちづくり政策課	出席
随時	知立市 産業振興課	出席

※会員 7 名中、3 名欠席、4 名参加であり、定足数（過半数）を満たしているため開催。

議事要旨

1.前回の振り返り

- 前回開催した内容について、事務局より説明

2.意見交換

- 事務局より、知立駅周辺の商業戦略を短期（～3 年）・中期（～5 年）・長期（6 年～）に分けた施策案が説明された

【短期】回遊イベントの実施と回遊促進

企業向け人材育成（商工会の創業塾の実績・展望を共有）

飲食に限らず物販も含めたリーシングの検討

【中期】過去の経験値を活かした季節性イベントの定例実施

（例：冬のイルミネーション記念イベント）

各まちづくり団体による空き店舗のリノベーション・誘致の事業化

【長期】鉄道高架下空間を活かした商業機能の導入

中期の経験値を踏まえた駅周辺リーシング・配置計画への支援

■B リーグ連携イベント（短期施策の具体案）

- ・新富地区の事業者が B リーグのロゴを使ったグッズ作成制度に手を挙げており、同事業者の働きかけで B リーグ側が市役所を訪問し打ち合わせを実施
- ・B リーグオールスターゲームが名古屋で 1 月 15・16・17 日に開催予定 イベント内容（検討中）
- ・1 月 17 日（オールスター最終日）にちりゅっぴの庭でパブリックビューイングを実施したい意向
- ・スタンプラリー（単発ではなく期間設定を検討。12 月 1 日からの継続案も含め未確定）
- ・シティドレッシング、マルシェ、物販
- ・会場はちりゅっぴの庭を核とし、南北線の広い歩道空間の活用も検討中（道路管理者との調整が必要）
- ・ちりゅっぴの庭単体では 5～6 店舗程度しか配置できないため、ニーズ調査に必要な店舗数確保の観点から会場拡張を検討
- ・知立駅周辺の弱みとして 20～40 代女性の来訪が少ない点が指摘されており、B リーグ（女性ファンが多い）を活用して女性層を呼び込み、飲食・物販ニーズを実証的に調査する
- ・予算 300 万円の内訳は未確定
- ・イベントの主体（委託先）は未決定

- ・集客目標人数は未設定。長崎での昨年度事例（期間来訪者数）を B リーグ側に確認予定
- ・周知方法として紙媒体に加え SNS・Instagram の活用が提案された
- ・本イベントを商業戦略部会として実証的に実施する方向で部会参加者が同意した

■商業・不動産データの整備とリーシング戦略

- ・フェーズ 0（議論の場の設置）、フェーズ 1（現状把握）、フェーズ 2（商業施設立案）、フェーズ 3（実証）という段階的アプローチが提示された
- ・不足しているデータとして、駅前テナントの業種・客単価・客数・年齢層の商業調査、および延べ床数・平均坪単価・家賃水準の不動産調査が挙げられた
- ・人流調査・駅前利用者アンケートに加え、「寄らない理由」の調査が必要と指摘
- ・チェーン店・ブランド店・地域密着店の分類データがあるが、現状への更新が必要
- ・テナントミックスの方向性（提案・未決定）
- ・「寄り道ステーション」
5 分、15 分、30 分の滞在ニーズに対応として、10 分程度で飲食できる店・マッサージ・スイーツ・無印良品・成城石井・ミスタードーナツ・タリーズ・青山フラワーマーケット等への声かけが提案された
- ・認定制度と来店ポイント等の特典キャンペーンの組み合わせを提案
- ・出店者が投資判断できるよう、予測市場規模（例：来訪者数×客単価×来訪頻度から算出）を提示することが重要と指摘。現状の駅前流入 2,000 人を 4,000 人に増やす目標が既に設定・発表されている。
- ・出店採算の目安として、社員 1 名・アルバイト数名体制では月 300 万円（年 3,600 万円）程度の売上が必要
- ・地元出店事業者へのヒアリング（家賃水準・ブランド力・出店課題）が次フェーズとして必要

■不動産関係者との連携

- ・大万総業・水野不動産・野村開発等の地元不動産業者を招いた勉強会・意見聴取の実施が提案された
- ・補助金を活用した既存テナント（フードセンターベータ等）への直接ヒアリングも検討
- ・部会長より、まちづくりの観点から誘致したい業種・避けたい業種について不動産業者と意見交換する場（商工会議所等と連携した小規模な意見交換会）の設置が提案された
- ・「逆さま不動産」（名古屋）の取り組み（借り手の情報を掲載し貸し手とマッチングするポータルサイト）が参考事例として紹介された

■地図・データの可視化

- ・千種駅周辺の商業・不動産情報を地図上に落とし込む作業をコンサルと相談しながら進める方針が示された

■商工会の創業支援実績と高架下活用

- ・昨年度の創業塾参加者は 24 名（個人経営の飲食店・ネットショップ・IT・ネイルサロン・エステ等）
- ・今年度は上期・下期各 6 ヶ月の 2 回開催予定。上期は 10 名が申込済み
- ・商工会より、名鉄高架下にチャレンジショップ・コワーキングスペースを設置し創業希望者を誘致したい。高架下を駅前広場～堀切公園のルートと結ぶ動線整備が回遊性・既存商店の巻き込みの起爆剤になるとの見解が示された

■空き家・空き店舗問題

- ・後継者不在・高齢化により既存商店街の担い手が減少しており、新規出店意欲の醸成が困難な状況
- ・2030 年に向けて全国平均で 3 軒に 1 軒が空き家になるとの見通しが示された（知立は全国平均より少ないとの認識）
- ・貸したい所有者と借りたい事業者のマッチングが課題。
- ・古民家を活用したカフェ・和菓子店等の副業種展開も選択肢として言及された

■視察候補地

- ・事務局提案：静岡県島田市（株式会社街づくり島田・帯通り「島田元気駅」）。
ウォークابل・道路活用・テント出店の事例。バス移動で約 1 時間半程度。
10～11 月の日曜日に朝市形式のイベントを実施中
- ・参加者紹介：高松市丸亀町商店街（商店街復活の成功例。まちづくり会社が土地を借り上げてテナント裁定を担う仕組み）。ただし遠方のため参考情報として共有

以上